

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2005-313108 (P2005-313108A)

【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-135626 (P2004-135626)

【国際特許分類】

B 0 1 D 53/44 (2006.01)

B 0 1 D 53/74 (2006.01)

B 0 1 J 19/08 (2006.01)

B 0 1 D 53/86 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/34 1 1 7 E

B 0 1 J 19/08 Z A B E

B 0 1 D 53/36 G

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガスが流れる流路を有し、電圧を印加することによって、大気圧下で、該流路にプラズマを生成する誘電体であって、

孔を有する誘電体基材と、

前記孔の表面を覆う、前記誘電体基材よりも比誘電率の高い強誘電膜と、

該強誘電膜の表面を覆う吸着材と、

該吸着材の表面の一部を覆い、該吸着材とともに前記流路の外周部を形成する触媒とを有し、

前記流路は、3 次元状に、かつ、網目状に形成されている、誘電体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の誘電体と、

該誘電体を間に挟み、該誘電体に前記電圧を印加する、接地側電極と高圧側電極とを有する、ガス処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の誘電体と、

該誘電体を間に挟み、該誘電体に前記電圧を印加する、接地側電極と高圧側電極とを有し、

ガス処理装置に着脱可能に搭載できる、ガス処理装置用のカートリッジ。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のカートリッジを着脱可能に搭載できる保持部を有する、ガス処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明の誘電体は、ガスが流れる流路を有し、電圧を印加することによって、大気圧下で、流路にプラズマを生成する誘電体である。誘電体は、孔を有する誘電体基材と、孔の表面を覆う、誘電体基材よりも比誘電率の高い強誘電膜と、強誘電膜の表面を覆う吸着材と、吸着材の表面の一部を覆い、吸着材とともに流路の外周部を形成する触媒とを有し、流路は、3次元状に、かつ、網目状に形成されている。